エコマップの記入方法について

【エコマップとはなにか】

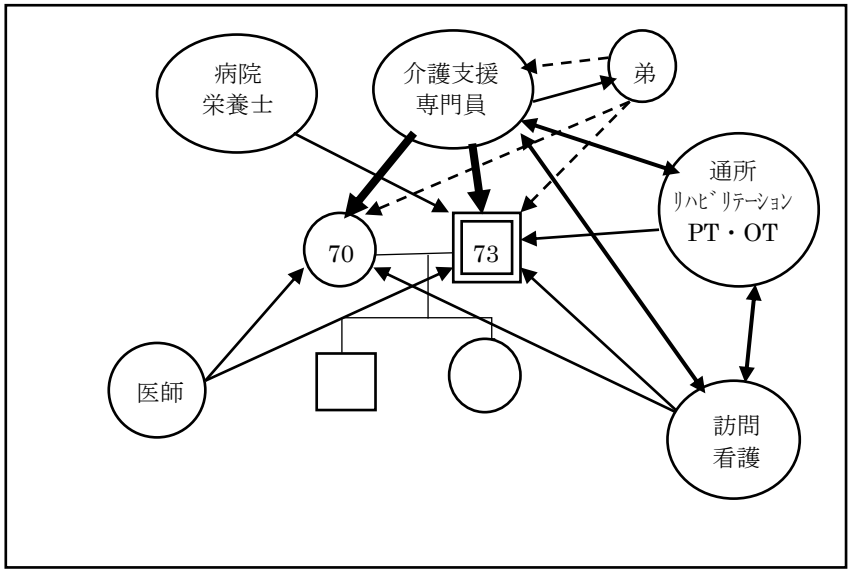
エコマップ（ecomap）とは、要介護者を中心として、その周辺にある社会資源（家族、兄弟姉妹、友人、近隣住民、医師、各種介護関連機関など）との相関関係を、ネットワークとして表現した地図のことです。生態地図とも言われます。

エコマップの目的は、複雑な家族の人間関係をアセスメント（評価）し、そこに課題や可能性、解消したい不和などを見出すことです。家族とその外部にいる人々や組織との関わりを「見える化」するためのツールとも言えます。

【エコマップの書き方】

要介護者との関係性を、（１）強い関係、（２）普通の関係、（３）弱い関係、（４）対立関係、という具合に分けて書きます。わかりやすさのために、線の太さを変えたり、色を変えたりして表現すると良いです。

〔環境と結合の表記〕

←――→	実線の太いものほど重要、もしくは強い関係
┼┼┼┼┼	ストレスのある、又は葛藤のある関係
----------	希薄な関係
――→	資源・エネルギー・関心のフロー

〔エコマップの記載例〕